



黒潮フルーツライン区域農用地総合整備事業（農業用道路）開通式

印南町認定こども園が完成 園名・園章も決まりました！

シリーズ「防災を考える」① 地震に備える～何のため、誰のため～

地上デジタル放送受信のための支援 町民税非課税世帯の方への支援について

Contents

印南町認定こども園が完成……	2～3
春の火災予防運動……	4
シリーズ防災を考える①……	5
まちのできごと……	6～7
正確な住民登録をお願いします……	8
加入年金の変更手続きについて……	9
健康ひろば……	10～11
卒業式・入学式のご案内……	12
地デジ受信のための支援……	13
お知らせ……	14
今月の表紙・ぶらす一品……	15
町長メッセージ……	16

印南町認定こども園が完成！ 園名は『いなみこども園』に決定！



名付け親の森本さん(前列左)と園章考案者の沼野さん(前列右)

四月に開園する印南町認定こども園の園舎が完成しました。建物には、紀州材をふんだんに使用して、児童の目線に合わせて少し高さを抑えた「キッズデザイン」を採用し、町のシンボル「かえる」の子ども「おたまじゃくし」をイメージして、園庭を囲うように弧を描く形にしています。園庭は、一面に芝生を敷きつめ、園児の安全面を考慮して職員室から園庭が見渡せるようにしています。

また、一般公募していた園名と園章も決まり、園名は「いなみこども園」となりました。園名の名付け親の森本貞美



園章
印南町の頭文字I（子どもを見守る大人）、こども園のK（のびのび育つ子ども）を用い、青色は海を、緑色は山林を、赤色は太陽を表しています。



入園説明会での職員紹介の様子

（もりもとさだみ）さん、古屋さんと、園章考案者の沼野啓子（ぬまのけいこ）さん、美里には、こども園を運営する社会福祉法人しょうぶ保育園の木村直理事長から、感謝状と記念品が贈られました。

二月十三日（日）には、新園舎で入園説明会が開かれ、いなみこども園の職員紹介や園の運営、幼児教育方針、保育利用料等の説明が行われました。

なお、平成二十三年入園式は、四月七日（木）午前十時より行われます。



廊下



保育室(4歳児)



トイレ



遊具



制服等

平成23年度いなみこども園重点方針

- ①明るく伸びやかな子どもの育成
- ②心豊かで我慢の出来る子どもの育成
- ③みんなと協力できる子どもの育成
- ④意欲的に表現できる子どもの育成
- ⑤読み・書き・計算の素地作り

○園児数及びクラス編成

(平成23年2月1日現在)

保育区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
短時間保育	—	—	—	14名	19名	14名	47名
長時間保育	1名	9名	26名	41名	63名	57名	197名
計	1名	9名	26名	55名	82名	71名	244名
クラス数	1クラス		1クラス	2クラス	3クラス	2クラス	9クラス

平成23年 春の火災予防運動週間

実施期間 **3月1日(火)～3月7日(月)**
 全国統一標語 『消したかな』 あなたを守る 合言葉

住宅防火・いのちを守る

－ 3つの習慣・4つの対策－

3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対やめる
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

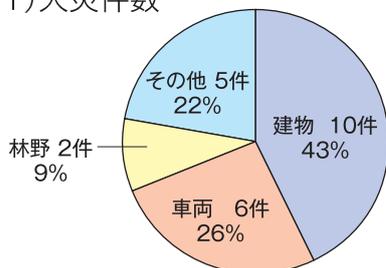
4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために**住宅用火災警報器**などを設置する
- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する
- ・火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる

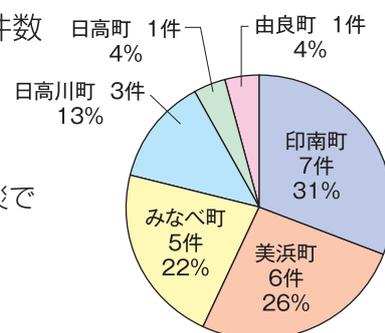


平成22年中の日高郡内における火災概要

(1) 火災件数



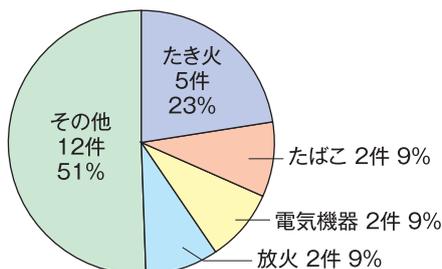
(2) 地区別火災件数



火災件数の43%が建物火災で10件発生しています。

(3) 原因別火災発生状況

その他は、ストーブ、配線器具、火遊び、マッチ・ライター、火入れ、放火の疑い、不明等です。



たき火により発生した火災が5件で全体の23%を占めています。



データ出典 日高広域消防本部より

地震に備える

何のため、誰のために

近い将来必ず起こるといわれている南海地震にむけて、日頃から備えるべきことは数えたらきりがありません。今回は、その中でも「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」についてお話しします。

非常持ち出し品、非常備蓄品とは？

この言葉を聞いたことがある人は少なくないでしょう。また、この質問をすれば、ほとんどの人が避難時に持っていくものであると答えるでしょう。では、必要なものとは具体的に何だったものなのでしょうか？



非常持ち出し品の例

非常持ち出し品

地震や津波など緊急に避難する必要があります。できる場合に最初に持ち出すものように、避難時に必要なものや貴重品に限ったほうがいいでしょう。

非常備蓄品

避難生活に備えて家庭で蓄えておくものです。

大地震が起こった場合、電気、水道、ガス等の供給が途絶えたり、食料の供給が途絶え日常生活に重大な影響を及ぼすことがあります。各家庭で、3日以上以上の備蓄が必要であるといわれています。

また、各家庭の家族構成等により必要なものも変わってきますので、「〇〇家流」の備蓄を考える必要があります。

何のため、誰のために

さて、非常持ち出し品と非常備蓄品についてお話ししてきましたが、みなさんは誰の為に災害に備えるのでしょうか？

自分を守るためはもちろんのこと、祖父母、父母、配偶者、お子さん、お孫さんなど守るべき人は様々であると思います。ただ、誰を守るためであっても、自分が無事である必要があります。それが結果的に、家族や周りの人を助けられることにつながっていきます。

「何のため、誰のために」備えるのか、一度ゆっくり考えてみてはいかがでしょうか。

すすんでいます!! 家具転倒防止器具設置事業

地震から身を守るために、家具転倒防止器具を設置しましょう。



お問い合わせ先 各自主防災会又は、総務課 ☎42-0120まで



まちの できごと



1月16日(日)

日高地方駅伝競走大会

雪が舞う日高川町坂野川の旧大星小学校周辺にて、日高地方体育協会・日高地方陸上競技協会主催の「第47回日高地方駅伝競走大会」が開かれ、日高地方の7市町が参加しました。各チームは、小学生男女各3人、一般3人で9区間21Kmを競い、印南町チームは昨年順位6位から1つ順位を上げ5位でゴール。区間賞では、6区=久保典也さんが入賞を果たしました。成績は次のとおり。①御坊市②日高川町③みなべ町④日高町⑤印南町⑥美浜町⑦由良町



1月30日(日)

いなみ・商店街駅伝

印南町商工会青年部主催の「第13回いなみ・商店街駅伝」が印南商店街で開かれ、小学生・一般・ファミリー駅伝・仮装・親子マラソンの部に分かれて競われました。仮装の部では、たこやきをイメージしたものや消防隊、フィギュアスケートの金メダリストなどの仮装で会場は大盛り上がり。また、商工会婦人部もうどんをつくり、参加者や観客に振る舞い大変好評でした。



2月5日(土)

かべ新聞コンクール全国交流大会で審査委員長特別賞を受賞

子どもの農業体験活動を応援する「子どもファーム・ネット」主催のかべ新聞コンクール全国交流大会が東京で開かれ、稲原中学校3年生の三木あかりさんと新田明日香さんのグループ「米米くらぶ」が審査委員長特別賞を受賞しました。

このコンクールは、園児・小学生・中学生が対象で学校や地域で取り組んだ農業体験等の活動内容や調べたことなどをまとめた「かべ新聞」を審査するもので、今回2人は「稲中農園」での米や野菜の栽培の取り組みなどを写真入りで紹介しました。



◀ 玄素町長へ受賞報告に来庁された三木さん（前列左）と新田さん（前列中）

受賞おめでとうございます



かべ新聞「稲中農園～伝～」



雪国体験

毎年恒例、印南町青少年健全育成町民会議主催の「雪国体験」に37名の小中学生が参加しました。一行は2月4日(金)午後9時にバスで印南町を出発。バスの中で1泊し、翌5日(土)の朝「長野県・木島平スキー場」へ到着。この日は終日スキーレッスンを受け翌6日(日)に岐阜県にある「世界淡水魚園水族館」を見学した後、午後8時に印南町へ到着しました。子どもたちは、普段あまり見ることのない一面の銀世界を大いに満喫しました。



正確な住民登録をお願いします

全国で、死亡届や出生届など、必要な届出を行わない事が原因となる事件が多数発生し、問題となったところです。印南町では、そのような例はありませんが、今後も住民基本台帳の記録の正確性を確保していくためには皆様のご理解、ご協力が不可欠となっています。下記のような異動があった場合にも、必ず届出をお願い致します。



転入届	他市町村から印南町に新たに住所を変更する時に必要な届
	※添付書類として前住所地の転出証明書が必要になります。
	転入届は転入した日から14日以内に届出下さい。
転出届	印南町内から他市町村に住所を変更する時に必要な届
	郵送による転出届もできます。
	転出届は転出することが決まった日から転出するまでの間に届出下さい。ただし、事前に届ができなかった時には転出してから14日以内に届出下さい。
転居届	印南町内で住所を変更した時に必要な届
	転居届は転居した日から14日以内に届出下さい。
世帯主変更届	世帯及び世帯主に変更があった時に必要な届
	世帯主変更届は変更が生じた日から14日以内に届出下さい。

※同一世帯の方以外からの届出には委任状が必要になります

上記の届出を行う際に必要なもの

- ①本人確認書類 (例)運転免許証、パスポート、住基カード、健康保険証、年金手帳など
※顔写真無しの証明書であれば2点必要です。
- ②印鑑
- ③印南町発行の各種保険証 受給者証 など

国民健康保険の加入・脱退の届出をお忘れなく

転勤などで他の市町村に転出される場合、就職などで会社の健康保険に加入された場合、また退職等で健康保険を脱退した場合は、14日以内に加入・脱退の届出が必要となります。

脱退の届出の際に必要なもの

- ・国民健康保険保険証
- ・健康保険の資格取得日が確認できるもの（新たに加入された健康保険証など）
- ・認印

加入の届出の際に必要なもの

- ・退職した日がわかるもの（健康保険資格喪失届など）
- ・認印

お問い合わせ先 住民福祉課 ☎42-1738

就職・離職による加入年金の変更手続きについて

◆加入年金の変更をする場合に必要な手続き

厚生年金・共済組合加入の手続き

厚生年金・共済組合加入者に
扶養される配偶者の国民年金3号加入の手続き

退職した場合は本人と
扶養対象配偶者それぞれ国民年金1号加入の手続き

(任意継続の保険を取得しても厚生年金加入にはなりませんので、国民年金に加入の手続きが必要です。)

※国民年金第1号被保険者…自営業や農業、学生、無職の方など

※国民年金第3号被保険者…厚生年金・共済組合に加入している会社員・公務員に扶養されている妻
(又は夫)

※扶養対象配偶者…厚生年金・共済組合に加入している会社員・公務員に扶養されている妻(又は夫)

窓口へ持参するもの

離職した時、扶養から外れた時……印鑑・年金手帳・厚生年金等喪失日のわかる書類

勤務先へ届出

役場へ届出



学生の方や、卒業をして就職が決まらない方、
退職等で年金を払うのが大変な時
そのまま未納にしておくと、もしもの時に年金が
もらえなくなります。



免除申請を必ずしましょう！

【学生で平成22年度の免除申請をしていない方】

4月末までに必ず申請をしましょう。5月になると平成22年度の申請ができなくなります。

窓口へ持参するもの

学生……印鑑・年金手帳・学生証のコピー表・裏(記載のある場合)

※昨年申請をしている場合は継続になりますので、4月頃ハガキが送付されるので記入して提出下さい。納付書が送付された場合はもう一度学生の免除申請をしてください。

退職……退職の日付のわかる書類(ハローワークへの提出書類等)

学生から移行の人は印鑑・年金手帳のみで結構です。

免除申請についての注意事項

- ①学生免除の承認期間は4月から翌年3月です。(平成22年度分の申請締め切りについては上記参照。)
- ②一般免除(学生免除を除く全ての免除申請)の承認期間は7月から翌年6月が1年間になります。
平成22年度分は平成23年7月末までに、平成23年度分は平成23年7月以降に申請下さい。

お問い合わせ先 住民福祉課 ☎42-1738

健康ひろば

～分けてください あなたの愛を～

献血 日時 3月18日(金) 場所 Aコープいなみ前
時間 9時30分～12時 13時～16時

乳幼児健診

場所：印南町保健センター

◆乳幼児健康相談：3月14日(月)

平成22年8月生・平成22年1月生・平成21年12月生。

*6か月児にはブックスタート・1歳、2歳児にはむし歯予防のお話もあります。ぜひご参加ください。

◆3歳児健診：3月24日(木)

平成19年7～9月生。

*通知に同封している視聴覚チェック・花粉症アンケートも必ずご確認ください。



はつらつママ教室

日時 3月11日(金) 午後1時30分～3時

場所 印南町保健センター

内容 「赤ちゃんとの安心で安全な生活を送るには」をテーマに保健師のお話です。

子どもを事故から防ぐには？・・・一緒に考えてみませんか。

ひまわり教室

月 日	内 容
3月25日(金)	終了式

《集合》午前9時30分 印南町保健センター
《持ってくるもの》お茶・タオル・出席ノート

今年度を振り返ってみましょう！

①つれもて健診などで、医療機関受診を勧められた方

もう、受診されましたか？そのまま放っておいては、せっかく健診を受けた意味がなくなります。機会を作り医療機関に行きましょう！

②つれもて健診で、生活習慣の改善を勧められた方

健診から半年以上経ちましたが、いかがでしょうか？保健センターでは、いつでもご相談をお受けします！

③子宮頸がん検診・乳がん検診は受診されましたか？

広報いなみ2月号の健康ひろばでもお知らせしましたが、今年度、受けていない方は、ぜひ受けるようにしましょう。

④お子さんの予防接種は適切に受けていますか？

予防接種の種類によっては、年齢制限があります。特に、麻しん風しん混合ワクチン2期(年長)3期(中1)4期(高3相当)の接種期限は3月31日までです。

もう一度、
ご確認ください！

3月		
1	火	川又倒れんジャー
2	水	倒れんジャー
3	木	認知症予防教室⑧
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	川又倒れんジャー
9	水	倒れんジャー いきいきサロン
10	木	脳トレサロン
11	金	はつらつママ教室
12	土	
13	日	
14	月	乳幼児健康相談
15	火	川又倒れんジャー
16	水	倒れんジャー
17	木	
18	金	献血
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	川又倒れんジャー
23	水	倒れんジャー
24	木	3歳児健診
25	金	ひまわり教室
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	川又倒れんジャー
30	水	倒れんジャー デイケア教室
31	木	

お問い合わせ先
保健センター

☎43-8060
FAX.43-8061

平成23年度から、
**つれもて健診・人間ドックの申込み方法や
健診内容、対象者がかわります。**

4月はじめに、各ご家庭にご家族の氏名と受診可能な健診項目を記載した「つれもて健診・ドック受診希望調査票」をお送りします。家族で1枚の申込み票となっています。家族みんなで相談して、積極的に受診するようにしましょう。詳しくは同封されています、お知らせをご覧ください。

家族で呼ぼう（予防）、家族の健康！

和歌山県発達障害者支援センター ポラリス講演会

「発達障害への対応」

講師：杉山登志郎氏（精神科医 医学博士）

日時 3月13日(日) 13:00～16:00(受付12:30～)
場所 海南市海南保健福祉センター（海南市日方1519-10）
対象 発達障害児者本人、家族、支援者（教員・保育士・保健師・相談員・施設職員等）
定員 300名
参加費 無料
申込方法 住所・氏名・連絡先を明記し下記のFAXまたはEmailにてお送りください。

【お問い合わせ先】 和歌山県発達障害者支援センター ポラリス

〒641-0044 和歌山市今福3丁目5番41号 愛徳医療福祉センター内
TEL 073-413-3200/FAX：073-413-3020/Email：polaris@jtw.zaq.ne.jp

平成23年

3

1
(火)

～

3

7
(月)

は

こども予防接種週間です

4月からの入園・入学に備えて、
必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。

また、現在、中学1年生、高校3年生に相当する年齢で、平成22年4月以降、
2回目の麻しん・風しんの予防接種をまだ受けていない方も、是非この機会に受けましょう。



お問い合わせ先 保健センター ☎43-8060

卒園式・閉園式・入園式と卒業式・入学式のご案内

幼稚園・保育園の卒園式・閉園式の日程

園名	卒園式の日時	閉園式の日時
印南幼稚園	3月25日(金) 午前9時00分～	3月25日(金) 午前10時30分～
稲原幼稚園	3月25日(金) 午後1時00分～	3月25日(金) 午後2時00分～
あけぼの保育園	3月29日(火) 午後1時00分～	3月29日(火) 午後2時30分～
切目川保育園	3月29日(火) 午前10時00分～	3月29日(火) 午前11時15分～
稲原西保育園	3月29日(火) 午前9時00分～	3月29日(火) 午前10時00分～

いなみこども園の入園式の日程

園名	入園式の日時
いなみこども園	4月7日(木) 午前10時00分～

小学校・中学校の卒業式・入学式の日程

学校名	卒業式の日時	入学式の日時
印南小学校	3月23日(水) 午前9時00分～	4月8日(金) 午前10時00分～
稲原小学校	3月23日(水) 午前9時30分～	4月8日(金) 午前10時00分～
切目小学校	3月23日(水) 午前9時00分～	4月8日(金) 午前10時00分～
清流小学校	3月23日(水) 午前9時00分～	4月8日(金) 午前10時00分～
印南中学校	3月8日(火) 午前9時00分～	4月8日(金) 午後1時30分～
稲原中学校	3月8日(火) 午前9時00分～	4月8日(金) 午後1時30分～
切目中学校	3月8日(火) 午前9時30分～	4月8日(金) 午後1時30分～
清流中学校	3月8日(火) 午前9時00分～	4月8日(金) 午後1時30分～

○小・中学校へ入学されるお子様の保護者の方へは、印南町教育委員会から入学通知書を送付しています。

次のようなときは教育委員会までご連絡ください。

1. まだ入学通知書が届いていないとき
2. 入学通知書を受け取った後、他の市町村に転出されるとき
3. 事情等により、入学通知書に書かれた入学指定学校以外への入学を希望されるとき

お問い合わせ先 印南町教育委員会 教育課
電話：42-1700
FAX：42-1577



地上デジタル放送受信のための支援のご案内

今までのテレビ放送（地上アナログ放送）は、本年7月24日で終了します。
それまでに皆様のテレビを「地上デジタル放送対応」に換えていただく必要があります。



地上デジタル放送がまだ受信できない町民税非課税世帯に対して、簡易なチューナー1台を無償で給付する支援を行います。

世帯全員が町民税非課税の措置を受けている世帯が対象です。

なお、既に地上デジタル放送が視聴できる環境にある世帯については、本支援の対象外です。



NHKの放送受信料が全額免除となっている世帯には専用の支援があります。

詳しくは、下記の総務省地デジチューナー支援実施センターまでお問い合わせください。

支援の内容

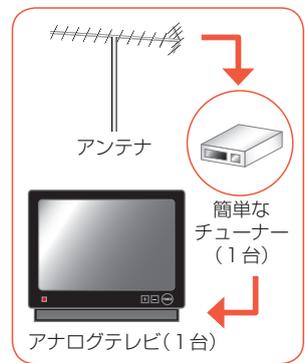
- 簡易なチューナー（1台）を無償で給付します。（テレビは給付しません）
- 支援は現物給付です。ご自身で購入したチューナーなどの清算はできません。
- 簡易チューナーの操作方法などを電話でサポートします。

支援の条件

NHKと放送受信契約を結ぶ必要があります。NHKと放送受信契約を結んでいない場合は、支援の申込後に速やかにNHKと放送受信契約を結んでください。

【申込期限】平成23年7月24日まで（消印有効）

※平成23年4月1日以降の支援については、平成23年度予算の成立が前提となっています。



【支援の申込などに関するお問い合わせ先】 総務省 地デジチューナー支援実施センター

☎0570-023724 又は ☎043-332-2525、ホームページ <http://www.chidejishien.jp>

【受付時間】 平日 午前9時～午後9時 / 土・日・祝日 午前9時～午後6時

お問い合わせ先 住民福祉課 ☎42-1738

ナンバープレートが付いているのに、使用していない軽自動車はありませんか？

軽自動車税は、3月末までに廃車（譲渡、売却等を含む）しないと、1年分の税金がかかります。手続きはお早めに済ませて下さい。

廃車手続きはお近くの自動車屋さんでしてくれますが、直接ご自分でされる方はこちらまで…

車種	手続き場所（連絡先）
・125cc以下の原付2輪車 ・20～50ccの小型特殊自動車 （町ナンバー）	印南町役場税務課（0738-42-1731）
126cc以上の2輪車 （県ナンバー）	和歌山陸運支局（050-5540-2065）
3輪、4輪の軽自動車 （県ナンバー）	軽自動車検査協会（073-433-4655） 御坊自動車整備協同組合（0738-22-1947）



なお、盗難等によりナンバープレートが無くなった場合は、車種に応じて上記手続き場所までご相談ください。

お問い合わせ先 税務課 ☎42-1731

近畿地区国立大学法人等職員 統一採用試験のお知らせ

- 京大・阪大・神大などの職員を募集しています
- ◎募集職種 事務系職員(事務・図書)、技術系職員
 - ◎受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた者
 - ◎受付期間 4月1日(金)～4月8日(金)
 - ◎第一次試験日 5月15日(日)

【お問い合わせ先】

近畿地区国立大学法人等職員
統一採用試験事務室
☎075-753-2227～2230



職業訓練生の募集 就職に有利な専門的知識や技能を習得します

- ◎募集訓練科 ・テクニカルオペレーション科
・電気設備科
- ◎訓練期間 平成23年5月10日(火)～
平成23年10月31日(月)
- ◎募集期間 平成23年3月11日(金)～
平成23年4月8日(金)
- ◎受講料 無料(但し、テキスト代等は自己負担)

【お問い合わせ先】

独立行政法人雇用・能力開発機構
和歌山センター訓練課
☎073-461-1532



NHK学園専攻科 *通信教育* 「コミュニティ・ボランティア専攻」

「認知症の理解」「地域福祉」「児童福祉」「介護」等、多彩な科目を1科目から学べます。

- ◆出願期間 平成23年2月1日～3月22日
- ◆その他、様々な科目、課程があります。
- ◆案内書のご請求、ご質問はお気軽に下記まで。

【お問い合わせ先】

NHK学園 <http://www.n-gaku.jp>
☎042-572-3151(代表)/FAX042-574-3559

印南町高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 平成23年度印南シニア学園【本校】生徒募集

本学園は、高齢者の健康づくりと生涯学習を通じて、教養を高めるとともに、豊かな経験と知識、技能等を活かし「生涯現役」という姿勢をもちつづけ、地域に活力を与え、生きがいのある生活を送ることを目的としています。



- ◎募集定員 30名
- ◎学年 4年制(1学年1クラス)
- ◎講義内容

必修科目	・一般教養(時事・ボランティア養成講座) ・福祉・人権・郷土史・保健体育等
サークル(選択科目)	・カラオケ・ゲートボール・健康ダンス ・手芸・短歌・俳句・書道・園芸・日舞

- ◎入学資格 原則として町内に在住する満60歳以上の方
- ◎学費 入学金3,000円
授業料 年間3,000円
交通費2,000円(※送迎バス等の利用希望者のみ)
- ◎開講日時 毎月第3木曜日
午前9:30～午後3:00まで
午後はサークル活動です。

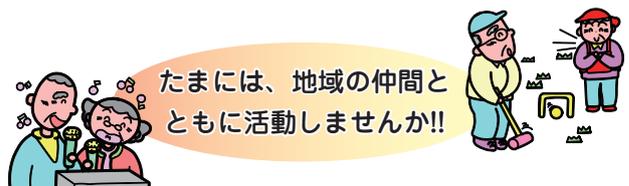
※内容により変更することがあります。

※お盆・お正月は休校です。

- ◎実施場所 印南町公民館、印南町社会福祉協議会
- ◎入学手続 入学願書を社会福祉協議会へ提出してください。

- ◎受付期間 平成23年3月1日(火)～3月22日(火)迄

【お問い合わせ先】
印南町社会福祉協議会 ☎42-1433



直接
つながり
ます



総務課……………42-0120	建設課……………42-1734	教育課(学校教育)…42-1700
住民福祉課…42-1738	秘書政策室…42-1736	教育課(社会教育)…42-1701
税務課……………42-1731	産業課……………42-1737	切目社会教育センター…43-0773
生活環境課…42-1732	議会事務局…42-1739	保健センター…43-8060
出納室……………42-1733		公民館……………42-1702



人の動き

平成23年2月1日現在

世帯：3,235世帯(±0)
 人口：9,181人(-8)
 男性：4,366人(-7)
 女性：4,815人(-1)
 ※()内は1月4日との比較です。



心配事相談所開設予定

開設日	会場	相談時間
3月10日(木)	印南社会福祉センター	10:30～15:00

※相談日・相談場所について変更する場合がありますのでご了承下さい。

今月の表紙

黒潮フルーツライン区域農用地総合整備事業が完工しました

この事業は、うめ・花き・豆類等の栽培が盛んな印南町・みなべ町の2町にまたがる農業地帯を対象に、農業生産の基盤を確立するために、区画整理、暗渠排水、農用地造成等の「面的整備」と農業用道路の「線的整備」を一体として総合的に整備された事業です。

区画整理、農用地造成等により、安全に農作業のできる農用地が造成され、効率的な農地利用が図れます。さらに、農業用道路の整備により、営農や流通面だけでなく、地域振興、生活、観光等、様々な形で効果が期待できます。

事業の概要

区域の所在 印南町、みなべ町
 事業工期 平成13年度～平成22年度
 事業内容 ①農用地整備(区画整理53ha、暗渠排水64ha、農用地造成27ha)
 ②土地改良施設整備(農業用道路 延長約14.3km)

※櫻川～西岩代間(4.6Km)の供用開始は4月1日

事業費 約223億円



ぷらす一品のおかず 炊飯器で作る さつま芋もち

材料 (10ヶ分)

さつま芋……………200g きな粉……………適量
 もち米……………100g 砂糖……………大さじ2～3
 水……………110cc 塩……………ひとつまみ

作り方

- ①もち米を洗い、分量の水に1晩つけておく。
- ②さつま芋の皮をむき、適当な大きさにカットし、水にさらす。
- ③①に②のさつま芋を入れて炊く。
- ④炊き上がったら砂糖と塩を入れて熱いうちに水にぬらした麺棒で潰してよく混ぜる。
- ⑤冷めたら手で丸めて団子にしてきな粉をまぶす。



※ねりあんを入れて、あん餅にしてもおいしいです。お彼岸に一度作ってみてネ!

(レシピ提供：小田 美津子)



『住んで良かった』 印南町を目指して

町長メッセージ



庁舎移転についての考え

寒い冬をくぐり抜け、草木の芽吹きを感じる今日この頃ですが、行政にとっては、3月は新しい年度への助走期間。新年度予算の審議を控え、「気を引き締めて頑張っていこう」そんな気持ちにさせられます。

さて、そんな中であって、少し先の話ではありますが、今月は、庁舎の移転について町の考えを述べたいと思います。

すでに、議会報告や新聞報道を通じてある程度、ご承知の方もいらっしゃるかもしれませんが、昨年から長期総合計画の策定作業と同時進行に3つの考え方について議論をしてきました。

1つ目は庁舎機能を全部移転する考え方。2つ目は機能の一部を移転する考え方。もう一つは本庁舎の耐震補強を行うという考え方。

全部移転及び一部移転については、本庁舎の部分と比較して、体育センター、公民館等教育委員会部局の建物は、耐震補強等をすれば耐用年数も相当伸びるので、立地場所が大規模地震の際の県の津波浸水地域に指定されているということも考慮しても、現在の所に残すことが妥当と考えています。次に本庁舎の耐震補強については、印南町役場本庁舎が完成したのは昭和39年。築47年が経過しています。耐震補強という考え方は当然考えられ、調査したのですが、補強には3億円程度かかること、また仮に補強をしたとしても、筋交いなど、フロアの使用が制約されること、所々でコンクリートの劣化が激しいこと、改修期間中の仮庁舎移転費用が掛かるようになること（約1.5億円）、かつ総合的な専門家の診断においても費用をかけた分だけの効果を得ることは難しいという結果が出たこ

となどから、本庁舎については、前記理由に防災の観点も考慮に入れて移転することを判断したところです。

しかし、新庁舎建設においても当然費用が発生してきます。当初、議論を出発させた際には、移転費用（システムの移行費用など）を含めて、15億円程度のお金はかかるだろうという試算でした。実際、お隣の御坊市でも、庁舎新築に20～26億円ということが報道されていましたが、普通はそうだと思います。しかし、職員数は最大時（170人）からあと数年で半分程度になること、IT化により書庫などのスペースも今までよりも狭められること、また先進地の調査を進めていく中で、防災機能を保ちながら見た目を多少我慢すれば費用も抑えられる建築もあることなどもわかり、総費用が当初見込みの半分程度（約8億の予算）で移転できるという見通しが立てられる状況になっています。

そういった中で、新年度予算においては関係費用を予算計上しています。また、今後の庁舎移転の時期であります。設計・工事などの期間、現行の電算システムの更新時期、住民の皆さんへの広報、資金計画など総合的に考え、今から3年後の平成26年の5月連休くらいにかえるの里の町有地に移れるよう計画していきたいと考えています。

「日本一安全で、日本一低コストで、先を見据えた庁舎建築」を目指していきたいと考えていますので、町民の皆さんのご協力をお願いいたします。